

【京野菜について】

九条ねぎ

青ねぎの代表的な品種のひとつで、白い部分が短めで緑の部分が長く、葉がやわらかく、甘みがあるのが特徴です。九条ねぎの栽培の始まりは、今から1300年ほど前、伏見稻荷大社の建立時までさかのぼります。京の伝統野菜の中でも最も古い栽培の歴史を持つています。

壬生菜

1800年代にみず菜の一変種が自然交雑によつて生まれました。壬生菜は水菜とともに京菜とも呼ばれ、関西では古くから親しまれている冬の野菜です。さっぱりした口当たりと風味も良く、ビタミンや食物繊維が豊富です。

聖護院大根

聖護院だいこんは、直径20cm、重さ4kg以上にもなる丸形の大型ダイコンで、美しい白い肌と肉質の緻密さが特徴です。一般的な青首大根と比べ、単に形が丸いという違いだけではなく、肉質がとても柔らかいのに煮くずれしないのが特徴で、辛味や大根臭さが少なく、甘みがあります。

堀川ごぼう

京都の伝統野菜の一つで、直径が5~8cmくらいになる越年栽培の大型ごぼうで、中心は空洞になつて「す入り」した状態ですが、肉質は軟らかく、特有の芳香があります。

金時人参

京料理に欠かせない彩りとして古くから用いられ、肉質がやわらかで甘みがあり、煮炊きするとさらに引き立ちます。

賀茂茄子

賀茂なすは大型の丸ナスです。実がしまり、ずっとしりとした重みが特徴で、果肉は固くしまり、歯ごたえも良く煮炊きしても煮くずれせず、ナスの女王ともいえる風格と味わいを持つ京の逸品です。

「京野菜のお味噌汁」

美味しいお召し上がり方

中身をお椀に入れ、

熱湯を150～160ml注ぎ、

よくかき混ぜてください。

ご質問・お問い合わせ

☎ 0120-66-1601(平日10時～17時)

△贈答品はホームページから
△注文・ご決済いただけます。

<https://www.minokichi.net>

